

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
～滝川市立小学校、中学校の体力の状況等～

滝川市教育委員会

1 調査の概要

(1) 実施期間

令和元年4月から7月末まで

(2) 調査の対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒

(3) 調査の内容

① 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査

(ア) 小学校の調査種目

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(イ) 中学校の調査種目

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走/20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

(※持久走か20mシャトルランのどちらかの選択が原則だが、両方実施した生徒もいる。)

イ 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

② 学校に対する児童生徒の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

(4) 参加状況 (悉皆調査)

小学校6校 中学校4校

(5) 調査対象児童生徒数

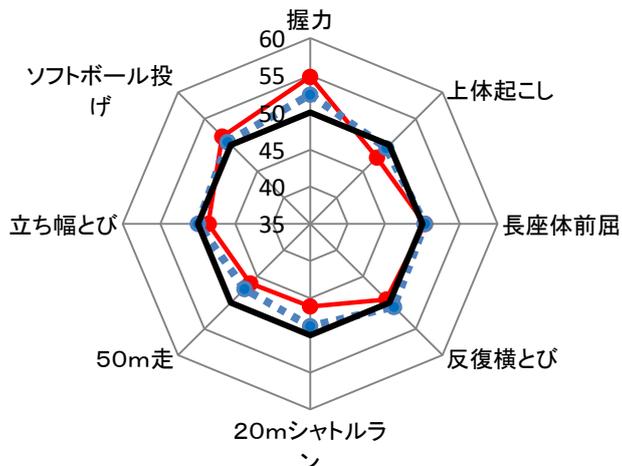
	小学校第5学年			中学校第2学年	
	学校名	対象児童数		学校名	対象生徒数
	滝川第一小	34		江陵中	80
	滝川第二小	66		明苑中	115
	滝川第三小	57		開西中	45
	西小	47		江部乙中	19
	江部乙小	13			
	東小	63			
	計	280		計	259

2 滝川市立小学校の状況及び体力向上策(学校数:6校、児童数:280名)

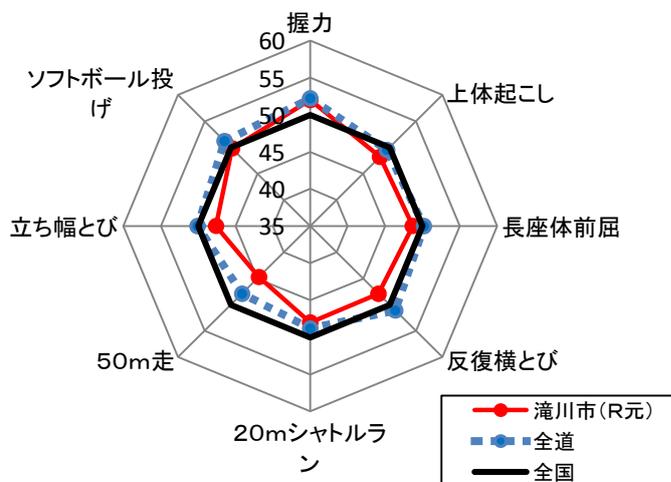
【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値(T得点)をレーダーチャートで表示

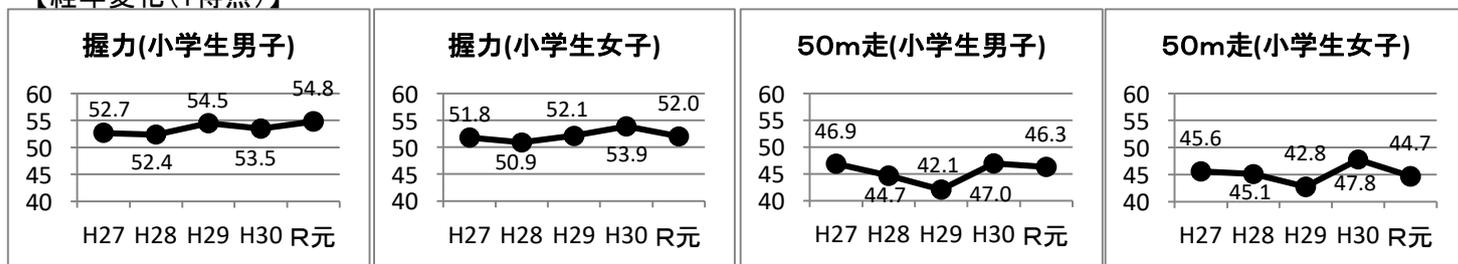
<男子>



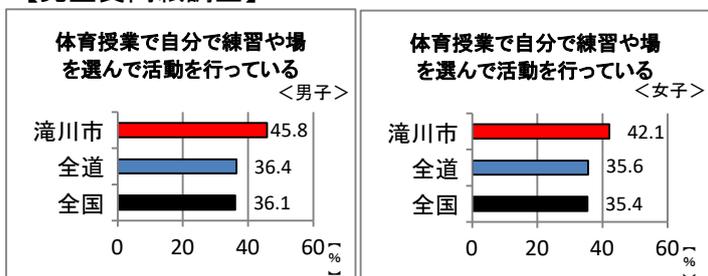
<女子>



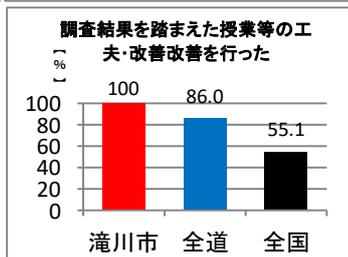
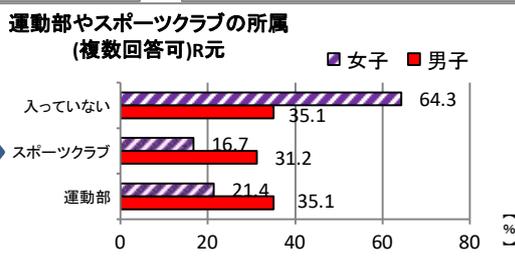
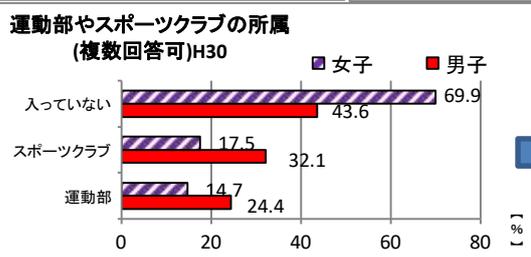
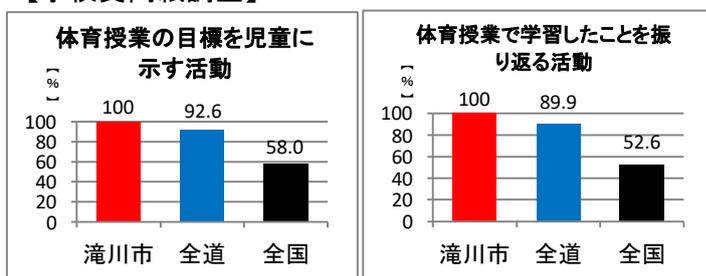
【経年変化(T得点)】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

実技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男子の「握力」「長座体前屈」「ソフトボール投げ」、女子の「握力」では全国平均を上回っている。 ○ 「50m走」は、男女ともに全国平均には及ばず、全国との差が広がった。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体育授業で自分で練習や場を選んで活動を行っている」と回答した児童の割合は、男女ともに全道及び全国を上回っている。 ○ 運動部やスポーツクラブに所属していないという児童は、昨年と比べて減少している(男子は△8.5%、女子は△5.6%)。この背景には、自ら進んで運動しようとして、友だちや家族からの勧めがあったりしたことが要因として考えられる
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体で、体育授業の目標を児童に示したり、学習したことを振り返る活動を取り入れたりするなど、調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行ったことにより、児童が見通しをもって活動に取り組むようになり、体育授業で自分で練習や場を選んで活動を行っている」と回答した児童の割合が、全道及び全国を上回ったと考えられる。

【滝川市の体力向上策】

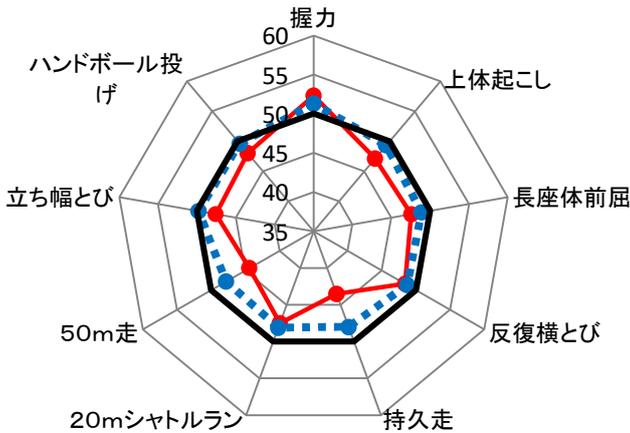
- ◎ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進。
- ◎ 滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施並びに「走力」「持久力」に焦点を当てた取組の推進。
- ◎ 滝川スポーツ協会及び各種団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援
- ◎ アダプテッドスポーツの出前授業の継続実施。

3 滝川市立中学校の状況及び体力向上策(学校数:4校、生徒数:259名)

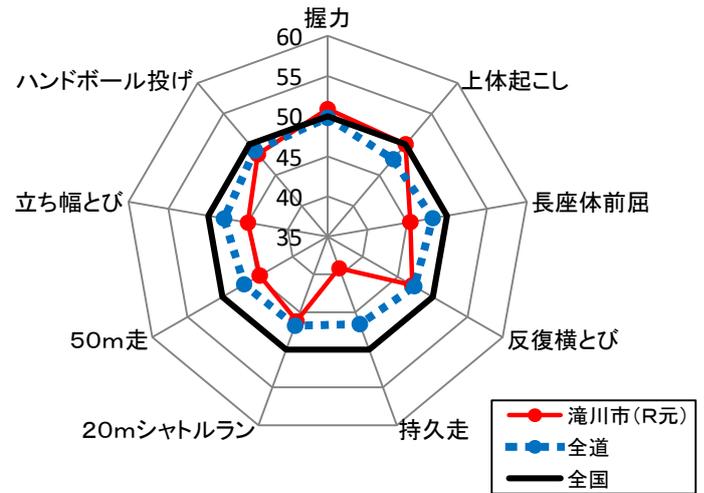
【各種目の状況】

全国を50とした時の偏差値(T得点)をレーダーチャートで表示

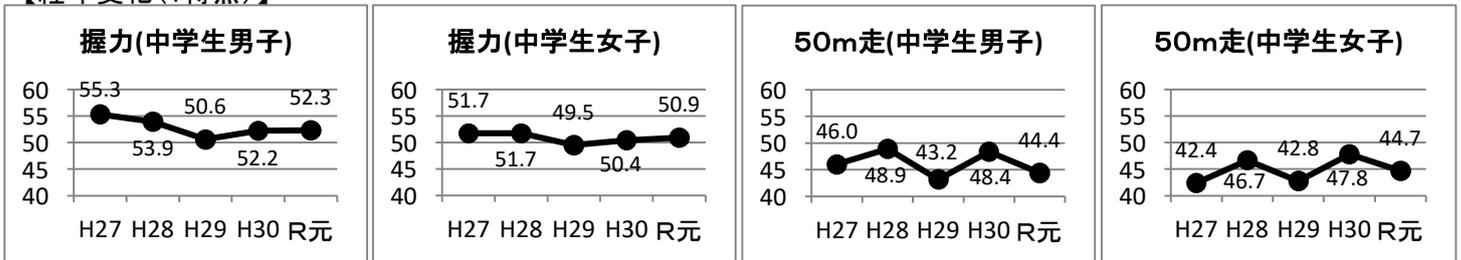
<男子>



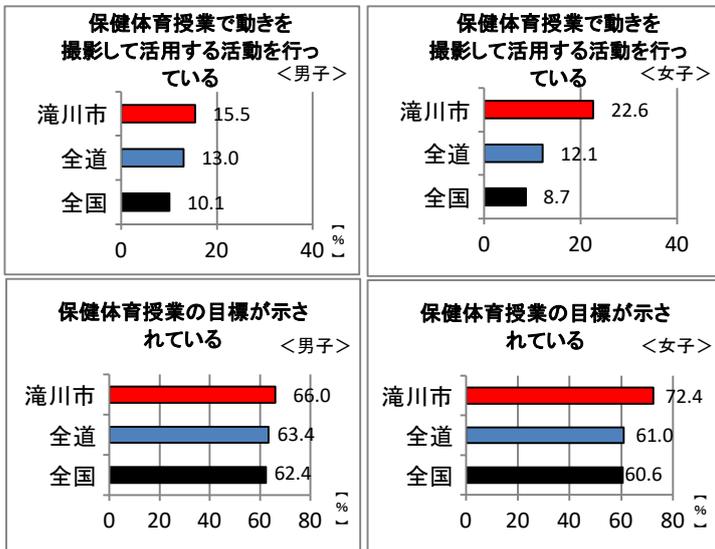
<女子>



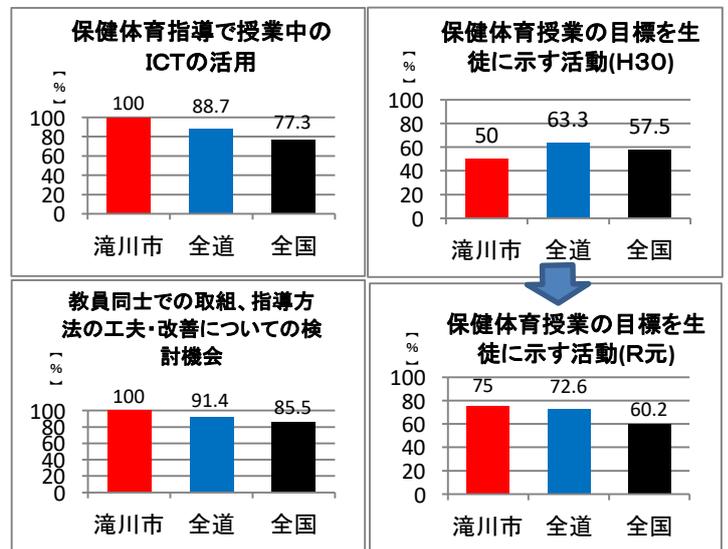
【経年変化(T得点)】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

実 技	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女ともに「握力」では、全国平均を上回っている。 ○ 50m走に関しては、男女ともに全国平均には及ばず、全国との差が広がった。「持久力」も依然として課題である。
生徒質問紙	○ 「保健体育授業で動きを撮影して活用する活動を行っている」「保健体育授業の目標が示されている」と回答した生徒の割合は、男女ともに全道及び全国平均を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体で、教員同士での取組、指導方法の工夫・改善についての検討機会を設定することにより、保健体育授業の目標が示されるようになり、授業改善が図られたと考えられる。 ○ 保健体育指導で授業中にICTを活用することにより、生徒が運動のポイントや自分の動きを視覚的に把握することができるようになったと考えられる。

【滝川市の体力向上策】

- ◎ 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の推進
- ◎ 滝川市教育振興会による体力向上事業の継続実施並びに「走力」「持久力」に焦点を当てた取組の推進。
- ◎ 滝川スポーツ協会及び各種団体によるスポーツ大会等の開催に係る支援